



ごあいさつ

理事長 大塚 勝弘



(株) 都市交通テクノロジー
代表取締役

令和6年8月1日熊本県で開催した全信工セミナー開会の挨拶より

当協会の責任者の大塚です。

この度は当セミナーに多くの方々にご参加いただき有難うございます。今回のセミナーは『交通信号に関わる当面の課題と取組み』をテーマとして開催いたしました。ご講演は

- ・熊本県警察本部 交通部 交通規制課長 井上 賢二 様
- ・熊本県警察本部 交通部 交通規制課管理官 岩崎 義博 様
- ・元近畿管区奈良県情報通信部長で当協会参与 平島 憲治 様
- ・日本信号株式会社 スマートモビリティ事業部 青木 芳憲 様
- ・信号電材株式会社 営業部 坂本 浩一 様

をお願いしております。

講演者の皆様にはお忙しい中、お運びいただき、ご指導いただくことに大変ありがたく感謝申し上げます。

さて、当協会が発足して15年になりますが、その設立趣旨は『**交通信号工事業は、その施工にあたっては、電気、通信、土木と広範囲な技術を求められる内容であり、さらには交通量の多い現場での活線工事などと共に、歩行者などの安全性をも求められる状況です。即ち、一般的な電気工事能力だけでは施工品質を確保できない内容を含んでおり、道路交通の安全と向上に寄与し、信号工事の施工品質の高度化、均質化を図るべく、施工技術の向上を目指す。**』という趣旨でスタートいたしました。

また、交通信号施工事業は交通管制施設整備の基幹業務でありながら、社会に対する貢献度の割には、工事業者の多くは中小企業で経営基盤が不安定な状況に置かれているのが実情で、交通信号施工業界の社会的地位の向上と健全な発展に寄与し、施工業者が誇りを持てるような業界となることを目的として当協会が設立された訳です。

本日のセミナーは先ほど申し上げた、協会設立趣旨の一面である施工技術向上のための勉強会であります。

昨今の交通インフラにつきましては、信号灯器のLED化や制御回線のデジタル化などが本格的に進んできており、また2024年問題にもかかわって、バス、タクシー、トラックのドライバー不足等に起因して車両の自動運転化へのニーズが増え、その事業化が遠くない時代にやってきます（すでに一部の地域では自動運転バスの実証実験も進められている状態です）。

とはいえ、道路を使用する歩行者、自転車が存在するうちは信号機が無くなることはありませんが、自動運転車両がインフラに関わるようになれば明らかに信号制御の機能向上が考えられます。

また、昨今の温暖化に伴う気候変動による信号柱への風力荷重への対応や、長期間運用されている信号設備更新への対応なども求められています。

本日のテーマは、『交通信号に関わる当面の課題と取組み』ですが、まさにこのように交通インフラの変革が間近に迫っている状況で、我々交通信号施工業者にとっても施工技術のための知識習得が必要であり、重要なテーマであります。

聴講される皆様にとり、貴重な一日となるようお願いしまして私のご挨拶といたします。

全信工セミナー

『変革する交通信号技術』動画ダイジェスト版 ▶



全信工セミナー「交通信号に関する当面の課題と取組み」講演要旨

令和6年8月1日、熊本県の熊本市民会館シアーズホーム 夢ホールにおいて一般社団法人全信工協会が主催する全信工セミナー「交通信号に関する当面の課題と取組み」を開催しました。

当協会は、交通信号施設工事を主として行う事業者の社団法人であり、人材の育成と専門能力の向上を目的に平成23年度に創設し、主な事業は調査研究事業、普及事業、技能検定事業、技術講習事業、その他この法人の目的を達成するための事業であり、今回のセミナーは、技術講習事業の一環として開催しました。

大塚勝弘理事長の開会の挨拶、熊本県警察本部交通部交通規制課長 井上賢二氏の来賓挨拶に続き、

○ 熊本県警察本部交通部交通規制課管理官 岩崎義博氏による

「交通信号に関わる当面の課題と取組み」

○ 当協会参与 平島憲治氏による

「将来の交通信号システムへの対処」

○ 日本信号株式会社

スマートモビリティ営業部 青木芳憲氏による

「自動運転社会の実現に向けた新たな技術」

○ 信号電材株式会社営業部 坂本浩一氏による

「老朽化信号設備の更新と災害対策」

の講演があり北は東京、南は鹿児島から出席いただいた185名の受講者は熱心に耳を傾けていました。

講演終了後には質疑応答の時間が設けられ、講演内容は非常に意義があったという意見が多数あり、また日ごろ疑問に思っていたこと等について真剣に討議をしました。最後に、当協会の石坂敏明理事の開会の挨拶により盛況のうちに閉会しました。



石川県警への発動発電機の寄贈

全信工協会では、能登半島地震で被災した交通信号施設の復旧に活用していただきたく、会員の皆様に災害支援金の寄付を募ったところ65社と2個人の方から総額318万の寄付金をいただきました。

寄付金は、交通信号機の停電対策用として発動発電機20台を寄贈することにしました。

寄付受納式は令和6年4月25日、石川県警察交通部長をはじめ石川県警察幹部が列席するなか、全信工協会大塚理事長から目録の交付を行いました。

また、式典終了後には、県庁バス広場前交差点において警察官による発動発電機の設置訓練を行いました。

式典及び発動発電機の設置訓練の様子はNHKの全国ニュース及びテレビ金沢、北陸放送の3局で放送され、読売新聞、北國新聞でも報道されました。



NHKのニュース映像は、
こちらからご覧いただけます ▶



第8回交通信号工事甲子園

令和6年6月3日、第8回交通信号工事甲子園を三重県菰野町で開催しました。ご来賓として、三重県警察本部交通部参事官 須川 洋幸様、一般社団法人あさあけ代表理事 野浪 隆様のご臨席をいただきました。

※一般社団法人あさあけは、元警察幹部による顧問集団で災害発生時の支援等を目的に設立した一般社団法人です。

令和10年3月末をもって白熱電球の製造が廃止されます。それを受けて全国的に信号灯器のLED化更新工事が加速され、より安全かつ円滑に進むように今年度の競技内容は灯器更新としました。午前の部では比較的経験の浅い社員が、午後からはベテラン社員がその技術を競い合いました。競技の内容は、昨年に引き続きオンラインで視聴できるようカメラとネット環境を整え、全国の会員へ配信いたしました。

個人競技

順位	所属会社
優勝	株式会社アサヒ電設（三重）
準優勝	株式会社デュイテクニカル（京都）
第三位	株式会社シンコーワ（愛知）

団体競技

優勝	五島電気建設株式会社（京都）
準優勝	株式会社デュイテクニカル（京都）
第三位	株式会社北越ティーテック（石川）

最優秀班長賞（団体競技）

所属会社	株式会社デュイテクニカル（京都）
------	------------------



令和6年度全信工協会定時総会

令和6年6月13日、東京都墨田区において一般社団法人全信工協会の定時総会を開催し、理事長挨拶に引き続き審議事項、報告事項と議事は進行しました。

審議事項

- 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告並びに監査報告に関する件
 - ・調査研究事業：「交通信号機を活用した5Gネットワークの構築」の全国展開に協力及び交通信号工事の生産性向上に資する調査研究
 - ・普及事業：経営事項審査における確認書類の発行
 - ・技能検定事業：技能検定試験の実施、旧資格から新資格への資格移行講習の実施
 - ・技術講習事業：交通信号設計実務講習会の実施、現場代理人講習の実施、第一級及び第二級陸上特殊無線技士受験対策用eラーニング講座の実施
 - ・その他この法人の目的を達成するための事業：全信工中部地区委員会の発足、会員加入促進の実施、交通信号甲子園の開催、広報誌発行、セミナーの開催、広域緊急援助隊合同訓練に協力
- 第2号議案 役員の選任に関する件

報告事項

- 令和6年度事業計画及び収支予算
 - 能登半島地震に係る発動発電機の寄贈
- 総会終了後、警察庁 交通規制課様より講師をお招きし「交通安全施設の喫緊の課題」という題目にて講演会を開催いたしました。



アメリカ自動運転視察

大塚理事長を団長とした全信工有志10名が7月14日から22日までの9日間アメリカ西海岸の主要都市であるカリフォルニア州サンフランシスコ市とロサンゼルス市の交通状況、特に自動運転について視察しました。

サンフランシスコ市においてはPony.ai社を訪問しました。

同社はGoogleとBaidu出身の2人により2016年に設立され、中国と米カリフォルニア州を拠点に自動運転タクシーの開発を進めている会社です。中国で自動運転タクシーを運行しており、トヨタ自動車から4億ドル（当時のレートで約460億円）の出資を受けています。

ロサンゼルス市においては自動運転のタクシーを体験しました。両都市に共通するのは有人運転のタクシーはすべて個人がUberあるいはLyftに登録し、個人タクシーとして営業していることです。

タクシーを利用するにはスマホのアプリにて目的地と乗車場所を指定、料金は前納となります。しばらくするとその車両が目の前に来て利用できます。

無人運転タクシーは、Alphabet傘下の自動運転車開発企業“WAYMO”がタクシーを完全無人化で走行しています。タクシーの利用方法は有人運転タクシーと同じです。



交通インフラDXコンソーシアム定期総会出席

令和6年6月28日、当協会が正会員として参加している「交通インフラDXコンソーシアム」の定期総会が東京で開催され、大塚理事長、古市副理事長、竹野専務理事、秋山常務理事、倉田参与が出席しました。

総会は、開会宣言に続き

第1号議案 役員等の選任について 第2号議案 令和5年度活動報告
第3号議案 令和5年度収支報告 第4号議案 令和6年度活動計画
第5号議案 令和6年度収支計画
が上程され、いずれも賛成多数で可決されました。

令和7年度交通信号工事士等技能検定試験について

- 1 試験日時 令和7年9月21日（日）
- 2 試験場所 札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市
- 3 試験申込期間 令和7年6月2日（月）～7月11日（金）（当日消印有効）
募集案内は、3月中旬に当協会ホームページに掲載いたします。

一般社団法人 全信工協会

〒108-0073 東京都港区三田3丁目4番12号三田 MTビル5F
TEL: 03-6659-3586 FAX: 03-6809-5088
ホームページ: <https://www.zenshinko.jp> E-mail: info@zenshinko.jp 協会ホームページ



※各会員様の連絡担当者等の変更・追加（複数も可能）につきましては、氏名・所属、役職、メールアドレス、電話／FAX番号を全信工協会までメール（info@zenshinko.jp）にてご連絡頂きますようお願いいたします。